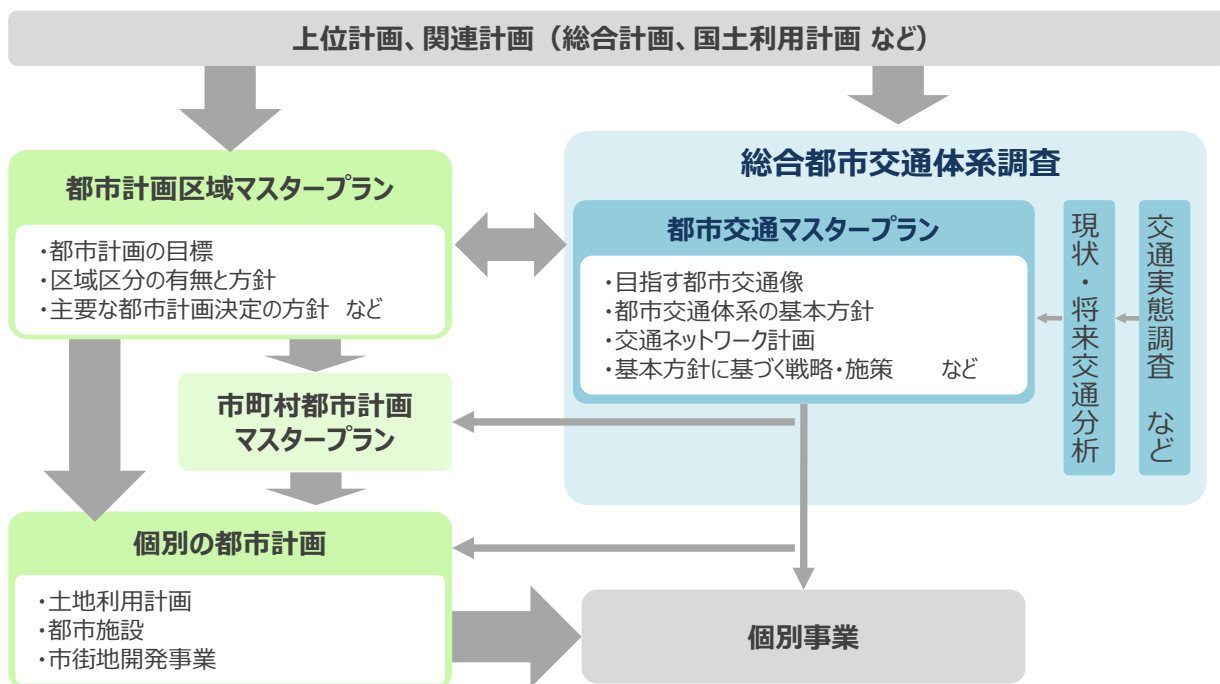


1.調査の概要

1-1 調査の目的

- 総合都市交通体系調査はパーソントリップ調査などの交通実態調査に基づき、都市圏の将来望ましい交通体系を描いた総合的な交通計画である都市交通マスタープランを策定する取組です。
- 東駿河湾都市圏では、平成16年度（2004）から平成18年度（2006）にかけて実施した前回調査（第2回調査）から10年が経過し、この間都市圏を取り巻く状況も大きく変化したことから新たな都市交通マスタープラン（目標年次：概ね20年後の平成47年（2035））の策定を目的として実施しました。

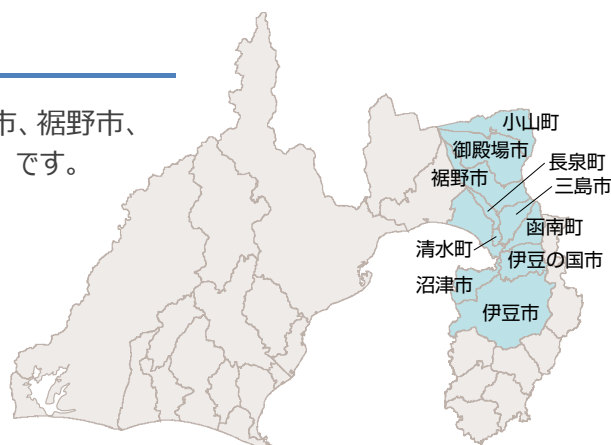
【総合都市交通体系調査の位置付け】



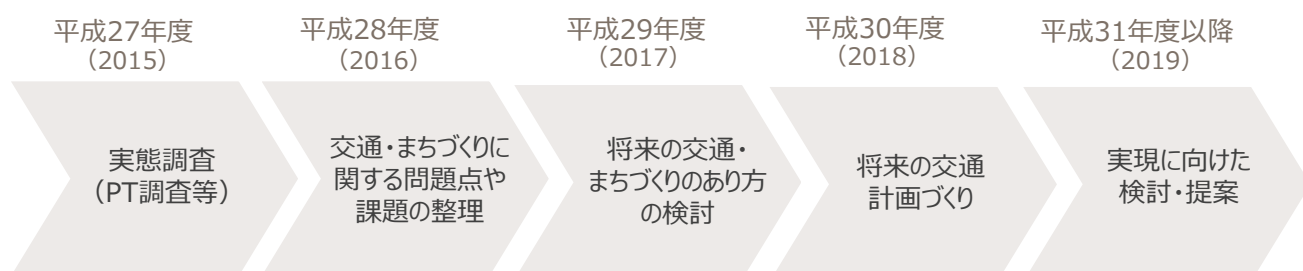
1-2 調査対象地域

- 対象地域は東駿河湾都市圏（沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町）です。
- 対象世帯数は約28万世帯（人口約65万人）です。

※第1回調査（H3）では、旧戸田村、旧土肥町、旧天城湯ヶ島町、旧中伊豆町は対象外



1-3 調査の流れ



1-4 交通実態調査の概要

- パーソントリップ (PT) とは、人 (パーソン) の動き (トリップ) を意味します。
- 『パーソントリップ調査』とは、どのような人が、いつ、どこからどこへ、何の目的で、どのような交通手段で移動したかについて調査し、平日1日の全ての動きをとらえる交通実態調査です。



【平成27年度 (2015) に実施した第3回東駿河湾PT調査の概要】

調査日	平成27年12月、平成28年2月
調査方法	郵送配布、郵送・WEB併用回収
調査結果	約28万世帯の中から約8万世帯を無作為抽出し 約2万世帯 (約4万人) から回答

👉 トリップとは…

人がある目的を持って出発地から目的地まで移動した場合の1回の動きをトリップといいます。
例えば、通勤という目的で自宅から勤務先へ行った場合には、通勤トリップとして1トリップになります。
また、勤務先から自宅に帰る動きも帰宅トリップとして1トリップになります。

